

千葉県教育委員会会議事録

令和6年度第7回会議（定例会）

1 期 日 令和6年10月16日（水） 開会 午前10時30分
閉会 午前11時12分

2 教育長及び出席委員

教育長 富塚 昌子
委員 岡本 毅
貞廣 齋子
花岡 伸和
永沢 佳純
櫻井 直輝

3 出席職員

教 育 次 長 井田 忠裕
教 育 次 長 杉野 可愛

企画管理部

企 画 管 理 部 長 福田 有理
学 校 危 機 管 理 監 原 義明
県 立 高 校 統 括 監 細川 義浩
教 育 総 務 課 長 吉本 明広
教 育 政 策 課 長 古谷野 久美子
財 務 課 副 課 長 菊池 威士
教 育 施 設 課 長 森田 勝利
教 育 施 設 課 副 技 監 兼 佐野 博也
大 規 模 改 修 室 長

教育振興部

教 育 振 興 部 長 荒金 誠司
教 育 振 興 部 次 長 里見 学
教 職 員 課 長 鈴木 克之

企画管理部

財 務 課 予 算 班 長 高木 優
教 育 施 設 課 企 画 調 整 班 長 小林 弘典
同 施 設 ・ 管 理 班 長 安田 貴光
同 主 事 平田 真大

教育振興部

教 職 員 課 主 幹 兼 管 理 室 長 佐々木 恵
同 主 幹 兼 小 中 学 校 人 事 室 長 金親 秀樹
同 主 幹 村田 歩
同 管 理 主 事 伊藤 忠幸
同 管 理 主 事 平野 孝幸
同 管 理 主 事 内田 隆二

同 管理主事 齋藤 智保

事務局

企画管理部教育総務課

主幹兼委員会室長 山口 聖剛

同 副主幹 小合 基夫

同 主査 杉本 浩二

同 主査 岡本 多佳乃

4 教育長開会宣告

5 署名人の指名 花岡 伸和 委員

6 令和6年度第6回千葉県教育委員会会議（定例会）議事録の承認

7 議題の宣告及び非公開の決定

本日の案件は、第27号議案から第32号議案までの議案6件、報告1の報告1件である。第27号議案から第30号議案については、教育委員会会議規則第13条第1項第四号「知事又は議会に対する意見の申出等」に該当することから、また、第31号議案及び第32号議案については、教育委員会会議規則第13条第1項第一号「任免、賞罰、人事」に該当することから、非公開により審議する。

8 進行役の指名

千葉県教育委員会会議規則第27条の2の規定に基づき、ここからの進行を岡本委員に願います。

9 審議事項

報告1 令和7年度（同6年度実施）千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考の結果について

【教職員課長】

今年度の教員採用選考は7月に第1次、8月に第2次を実施し、9月24日（火）午後4時に合格者を発表した。総募集人員約1,900名に対し、4,560名の志願があり、合格者の総数は2,037名となった。昨年度より39名の減となっている。今年度新設の「千葉県地域枠」については、20名程度を募集したところ、25名が志願し、当該枠での合格者は18名だった。こちらも新設の「元教諭特例選考B」については、8名が志願し、2次合格者は5名だった。当該選考は周年化しており、10月と1月にも選考日を設けているため、このあと合格者が増える可能性がある。今後も、熱意にあふれ、人間性豊かで、専門性の高い教員の確保に努めていく。

報告1は終了。

教育長報告 令和6年9月定例県議会の概要について

【富塚教育長】

9月定例県議会（会期：9月11日から10月9日）の概要について報告する。

はじめに、議案についてであるが、教育委員会関係は、「議案説明資料」のとおり、議案第1号「令和6年度千葉県一般会計補正予算（第2号）」議案第18号「損害賠償の額の決定及び和解について」が審査され、原案どおり可決された。

次に、本会議における代表質問及び一般質問についてであるが、「不登校児童生徒への支援等」に関する質問などが63件あった。詳細は、「令和6年9月定例県議会「本会議」質問項目一覧表（教育関係）」のとおりである。このうち、主なものについて、その内容を報告する。

教育問題について、「不登校児童生徒への支援事業である、オンライン授業配信『エデュオプちば』の実施状況はどうか。また、今後どのように進めていくのか。」との質問には、「本年6月から、中学生を対象に、国語、社会、数学、理科、英語の授業を配信しており、9月1日時点の登録者数は434名で、このうち、毎日100名程度の生徒が受講しています。7月に生徒に実施したアンケートでは、「授業を受けられたことで安心した」「今まで勉強に手がつかなかったが、少しずつ学習の習慣がついてきている」などの感想に加え、「授業以外に生徒間の交流の場が欲しい」などの意見が寄せられています。夏休み中には音楽や美術、保健体育の授業のほか、企業等の協力を得て、食育やプログラミングなどの講座も開講したところであり、引き続き、取組の充実を図るとともに、更なる周知に努め、受講者の増加につなげてまいります。」と答弁した。

次に、文教常任委員会における質問についてであるが、10月9日の本会議において、文教常任委員会委員長より、審議状況について、報告があった。詳細は「令和6年9月定例県議会文教常任委員会委員長報告」のとおりである。

なお、常任委員会当日、審議終了後に委員の県内視察が行われ、県総合教育センター内の“エデュオプちば”配信センターを文教常任委員10名が視察された。授業配信の様子を録画した動画の視聴後、授業を担当する教員との意見交換を行い、常任委員からは、「短期間によく準備した。想像以上に充実した授業内容であった。更なる周知や事業の拡大を期待する。」などの感想が聞かれた。

教育長報告 教員の未配置を完全に解消するための抜本的な対策を求める請願書について

【富塚教育長】

令和6年9月2日付けで受理した「教員の未配置を完全に解消するための抜本的な対策を求める請願書」への対応について説明する。本請願の趣旨は、県の責任で法律に定められた教職員の未配置を完全に解消するための対策を講じることを求めるものであり、請願項目は4項目になる。1点目は「文部科学省が認めている産休・育休の先読み加配を確実に活用して、年度初めからの産育休の未配置をなくすこと」2点目は「県費採用枠で年度初めから、教員を確保し未配置に対応すること」3点目は「小学校で1学級の人数を36人以上にしないこと」4点目は「特別支援学校の未配置を解消するための特別な措置を講じること」を要望している。

教員未配置が生じる背景は、特別支援学級の増加、若手教職員が増えたことによる産育代替講師の必要性の高まり等がある一方で、教員志願者数及び講師登録者数が減少していることが大きな要因である。県教育委員会では、教員不足解消に向けた緊急対策事業等を行うなど、様々な取組により、教員志願者や講師の確保に努めているところである。

請願項目の4点について、県の取組を説明する。1点目の本年度の「産・育休代替教師の安定的確保のための加配定数による支援」についてであるが、教諭のほか、養護教諭、栄養教諭、栄養職員、事務職員も配置対象となり、年度当初には95人を配置したところである。国の制度に基づき措置される産育加配については、今後も各市町村教育委員会に対して必要数を丁寧に確認し、講師等の確保と適切な配置に努めていく。

2点目の「県費採用枠での教員確保」についてであるが、教職員定数は、国が措置すること

が基本であり、県単定数は、療休代替等、国の定数では措置されない教職員について、措置しているところである。引き続き教職員定数の改善について国に要望をしていく。

4点目の「特別支援学校の未配置解消」についてである、令和7年度の特別支援学校における新規採用のための募集数は、令和6年度の募集数より40名増の120名とした。今後も、特別支援教育を含めた教員志願者の増加に向けた取組や講師確保に向けた情報発信に努めていく。

最後に、3点目の「35人を超える学級編制」については、これまでも申し上げてきた通り、地域や学校の実情に応じて、最も効果的な学習・生活指導を目的とする場合、例外的な措置として、可能であることを周知したものである。

実際に同運用を採用した学校からは、「複数の教員で指導を行うことで、よりきめ細かい指導が可能となり、特に支援を要する児童や不登校児童への対応など、効果的な個別指導が可能となった」「児童にとっては、複数の相談窓口ができ、より安心感をもって学校生活を送ることができている。」といった声があり、学校現場での効果的な運用事例が確認できている。

以上のとおり、本請願の内容を一つ一つ検討した結果、いずれもすでに取り組み方針を明確に定め、取り組みを進めており、また、県議会の場でも、県教育委員会の考えを表明していることから、付議しないこととした。引き続き、教員志願者の確保と、そこにも繋がる学校現場の働き方改革の推進に全力で取り組んでいく。

委員報告 千葉県立千葉商業高等学校の視察について

【岡本委員】

9月10日に千葉県立千葉商業高等学校へ、永沢委員、櫻井委員と私で視察に行ってきたので私から報告する。千葉商業高等学校は、今年度より「起業家育成に関するコース」が設置されており、今回の視察では、千葉大学IMOスタートアップ・ラボから講師を招いて行われた「アントレプレナーシップ」起業家精神についての特別授業を拝見した。正直に言うと、このようなことを高校で実施していることに対して非常に感銘を受けた。3点ほど感じたことがあったので報告する。1点目以外はその場で、講師の先生、学校に指摘させていただいた。

1点目は、いわゆる普通高校至上主義ということについてである。これが良いのかどうかということで、当該千葉商業高等学校でも、大学への進学実績をパンフレットに謳っている。或いはクラス編成自体も大学進学を前提としたクラスを作っているというようなことがあり、これは将来的な課題として考えていくべき問題であると思うところである。

2点目はアントレプレナーシップ教育の内容に関してである。講師の先生によると今回で5回目という説明があったが、今回私たちが拝見した授業は、会社の定款の作り方のような極めて技術的な問題を扱っていた。私としましてはもっと大きくとらえて、アントレプレナーシップはどのようなものなのか、起業家精神とはどのようなものなのかどのようにしたら醸成されるのか、ということその辺りから教育していただければよかったと感じた。

また、事例として取り上げられていたのが、物品を購入する場合には法人格がなければならぬと教えており、そのための商業登記をどういうふうにするのかということも教えておられたが、実は、物品の購入は個人でも法人でもできるわけで、物品を購入する上で商業登記が絶対要件ではないのではないかなという感想を持った。

3点目は授業形式についてである。特別講師が1人なので、講師がいるリアルの教室とリモートで参加する教室での授業となっていたが、このリモートでの授業形式で実施する際は、生徒が主体的かつ意欲的に参加できるような工夫が必要なのではないかと感じた次第である。

【永沢委員】

商業高校や工業高校に視察に行くと、学校側から「よい会社に就職できる子が多い」と伺い、商業高校や工業高校を選ぶ生徒は見識が高いと視察に行く度に思っている。しかし、高校を受験するお子さんの親御さんに意見を伺ったときにお子さんを普通高校に進学させたいと考えている方が多かったので、親御さんたちにこれまで以上に商業高校や工業高校の良さを周知して

いただきたい。

<傍聴・報道 退出>

第27号議案 契約の締結について

第28号議案 契約の締結について

教育施設課副技監兼大規模改修室長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第29号議案 専決処分の申し入れについて

第30号議案 専決処分の申し入れについて

第31号議案 学校職員の懲戒処分について

教職員課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第32号議案 令和6年度教育功労者の決定について

教育総務課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

10 教育長閉会宣告

令和6年11月13日 署名人